

2017 年度 韓国派遣留学報告書

留学先：慶熙大学校

留学期間：9月5日(火)～12月28日(木)

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016062
須藤優紀

目次

1 留学先及び留学期間	3
2 留学先概要	3
3 留学目的	3
4 留学内容	4
4 - 1 研修のスケジュール	4
4 - 2 研修の詳細	7
5 所感	9
6 おわりに	9
謝辞	9

付録

研修日誌	10
------	----

1 留学先及び留学期間

留学先：慶熙大学校 国際教育院

留学期間：平成 29 年 9 月 5 日(火)～平成 29 年 12 月 28 日(木)

2 留学先概要

(i) 大学について

慶熙大学校はソウル東大門区に本部を構える大韓民国の私立大学である。1949年に設置され、大学の略称は「KHU」である。またソウルの他に、水原（スウォン）、光陵（クァンヌン）の合計3ヶ所にキャンパスを構えている。現在は約20の学部を持ち、世界各国の大学と姉妹提携を結び、大学間の単位交換、語学研修、国際交流プログラムなどを実施している。ソウルキャンパスは山を切り崩したような場所に建てられ、キャンパス内は急な坂道が多い。そして今回の研修先である国際教育院は1970年に設立され、1993年から外国人のための韓国語プログラムをスタートし、1996年には政府公認の韓国語研修機関に選定された韓国語教育の先駆けともいわれる機関である。国際教育院は現在、ソウルキャンパスと水原（スウォン）キャンパスの2ヶ所に設置されている。

(ii) 大学にて行われる教育について

・トウミ（チューター）制度

慶熙大学の国際教育院の教育の中で最大の特徴と言えるのが「トウミ（チューター）制度」である。研修生に慶熙大学の学生がマンツーマンにつき、言語は勿論、韓国での生活の手助けをしてくれる制度であり、慶熙大学の学生との交流ができる。トウミを申請する際に性別や学部など様々な条件を指定する事ができる。お互いの時間が合う日に一緒に勉強したり、食事をしたり、会話を楽しんだりできる。このシステムは現在では多くに機関で導入されているが、韓国内で初めて導入したのは慶熙大学が初めてであり、とても定評がある。

・オンライン授業

2014年より、正規課程受講者を対象にオンライン講座がスタートした。初級1・2、中級1・2、高級1・2の6つのレベルで構成されており、正規課程のクラス分けの結果による自分のレベルを受講できる。自分のスマートフォンやパソコンで手軽に受講でき、効率の良い復習ができる。また、オンライン講座は成績に含まれるので必ず受講する必要がある。

3 留学目的

大学入学前から音楽や文化に興味をもち本格的に韓国について学びたいと考えており、大学1学年後期から本格的に韓国語の学習をスタートさせた。今回の留学の目的はその中で知識がどれだけ自分に

身につけているか、現段階で自分の実力がどれくらいのレベルであるのかを知るためであった。また、よりレベルの高い韓国語の能力をつけるためには、日本語の通じない、何をするにも韓国語を話さざるを得ないという環境に自分の身をおき、本場の生の韓国語を耳にすることが必要だと考えたからである。相手の話すことを理解し、それに対する自分の意見を明確に述べ、スムーズに会話をするためには現段階よりもレベルの高いリスニング能力、スピーキング能力、そして理解力が必要であった。今回は特にその3点を重点的にレベルアップしたいと考えていた。また言語だけでなく、文化なども実際に韓国へ行って見ないと分かり得ない事が多い。そのためインターネットの情報や文献だけでは見えてこないリアルな韓国を体験したいと思っていたためである。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

4 - 1 研修のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
9	5 (火)	到着	
	6 (水)	オリエンテーション、入校式	韓国語 (初級1)
	7 (木)	韓国語 (初級1)	
	8 (金)	韓国語 (初級1)	
	11 (月)	韓国語 (初級1)	映画
	12 (火)	韓国語 (初級1)	特別講義
	13 (水)	韓国語 (初級1)	歌
	14 (木)	現地学習	
	15 (金)	韓国語 (初級1)	セミナー
	18 (月)	韓国語 (初級1)	映画
	19 (火)	韓国語 (初級1)	特別講義
	20 (水)	韓国語 (初級1)	歌
	21 (木)	現地学習	
	22 (金)	韓国語 (初級1)	セミナー
	25 (月)	韓国語 (初級1)	映画
	26 (火)	秋学期 入校式	特別講義

	27 (水)	韓国語 (初級 2)	歌
	28 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	29 (金)	韓国語 (初級 2)	

10	2 (月)	秋夕 (チュソク) 連休	
	3 (火)		
	4 (水)		
	5 (木)		
	6 (金)		
	9 (月)	韓国語 (初級 2)	映画
	10 (火)	韓国語 (初級 2)	特別講義
	11 (水)	韓国語 (初級 2)	歌
	12 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	13 (金)	韓国語 (初級 2)	
	16 (月)	韓国語 (初級 2)	映画
	17 (火)	韓国語 (初級 2)	特別講義
	18 (水)	韓国語 (初級 2)	歌
	19 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	20 (金)	韓国語 (初級 2)	
	23 (月)	韓国語 (初級 2)	映画
	24 (火)	韓国語 (初級 2)	特別講義
	25 (水)	韓国語 (初級 2)	歌
	26 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	27 (金)	韓国語 (初級 2)	
30 (月)	韓国語 (初級 2)	映画	
31 (火)	韓国語 (初級 2)	特別講義	

11	1 (水)	中間試験	歌
	2 (木)	中間試験	セミナー
	3 (金)	韓国語 (初級 2)	
	6 (月)	韓国語 (初級 2)	映画
	7 (火)	韓国語 (初級 2)	特別講義
	8 (水)	韓国語 (初級 2)	歌

	9 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	10 (金)	韓国語 (初級 2)	
	13 (月)	韓国語 (初級 2)	映画
	14 (火)	韓国語 (初級 2)	特別講義
	15 (水)	現地学習	
	16 (木)		
	17 (金)	韓国語 (初級 2)	
	20 (月)	韓国語 (初級 2)	映画
	21 (火)	韓国語 (初級 2)	特別講義
	22 (水)	韓国語 (初級 2)	歌
	23 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	24 (金)	韓国語 (初級 2)	
	27 (月)	韓国語 (初級 2)	映画
	28 (火)	韓国語 (初級 2)	特別講義
	29 (水)	韓国語 (初級 2)	歌
	30 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー

12	1 (金)	韓国語 (初級 2)	
	4 (月)	期末試験	映画
	5 (火)	期末試験	特別講義
	6 (水)	特別授業	歌
	7 (木)	特別授業	セミナー
	8 (金)	秋学期 修了式	
	11 (月)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	映画
	12 (火)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	特別講義
	13 (水)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	歌
	14 (木)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	セミナー
	15 (金)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	
	18 (月)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	映画
	19 (火)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	特別講義
	20 (水)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	歌
	21 (木)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	セミナー
	22 (金)	韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業	修了式

	25 (月)	自由時間
	26 (火)	
	27 (水)	
	28 (木)	帰国

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目は以下のとおりである。

(i) 韓国語授業 (初級 1、2)

9月7日(木)から9月25日(月)までは「初級1」の授業を新潟国際情報大学の学生のみで受け、9月26日(火)から12月7日(木)までは秋学期の正規課程となり、クラス分けテストにより振り分けられたクラスにて各自「初級2」の授業を受けた。授業は9:00から始まり、午前には1コマ50分の授業を4コマ受け、前半の2コマで文法、後半の2コマで、毎日1教科ずつリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを順番に受けた。午後は新潟国際情報大学の学生のみで、主に月曜日に映画、火曜日に特別講義、水曜日に歌、木曜日にセミナーの授業を受けた。また、金曜日の午後は自由時間であった。時間割の詳細は下図を参照。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00~9:50	文法				
10:00~10:50					
11:10~12:00	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを順番に行う				
12:10~13:00					
13:00~14:10	昼食				
14:10~15:00	映画	特別講義	歌	セミナー	
15:10~16:00					

(ii) 映画の授業

先生が選んだ韓国語の映画を字幕なしで観賞し、韓国語のリスニング能力や理解力を高めた。また、映画の中で重要な表現や単語を先生が抜粋し、文法の説明を受けたり、台詞の音読を行ったりした。

(iii) 特別講義

韓国の歴史や文化、現代の韓国事情、ハングルや言語についてなど、国際教育院の院長や特別講師の先生方の講義を聞いた。また、テコンドーやK-POP ダンスを習ったり、韓国の伝統の遊びや書道などを体験したり、韓国独自の文化に触れる事ができた。日本では体験できない、様々な体験する事ができた。

(iv) 歌の授業

自分たちがそれぞれ好きな歌について紹介する発表を行なった。毎時間数人、その歌を選んだ理由や、好きな歌詞、その歌を歌っている歌手の紹介など、韓国語でPPTと原稿を作成し、1人10分程度の発表を行なった。また、その歌の日本語訳を作成し、音読したり、歌詞の意味を理解しながら全員で歌ったりする事でリーディング能力を高めた。

(v) セミナーの授業

前半では韓国の衣食住や若者文化など韓国に関する事柄などの提示されたテーマを選択し、2人1組で発表をした。後半では自分たちがそれぞれ決めた韓国と日本を比較し疑問に思うことをテーマにし、1人1人発表をした。合計2回の発表を行なった。PPTと原稿を作成し、必要に応じてアンケート調査を行い、統計を比較するグラフを作成した。アンケート調査を行う事で、日本人と韓国人がそのテーマに対してどのように考えているか、リアルな回答を得る事ができた。さらに、発表においてどのようにアンケート調査を行うか、どのようにPPTや原稿を作成するかなど基本的なことも学ぶこともできた。そして、今回の研修で身につけた韓国語能力の成果を見せる場となった。

(vi) 現地学習

学校の外に出て、観光や様々な体験をする事ができた。9月14日(木)には国立中央博物館、「NANTA」劇場、Nソウルタワー、9月21日(木)には、青瓦台サランチュェ、景福宮、そして11月15日(水)から16日(木)にかけて1泊2日で雪岳山、江陵市内を観光した。雪岳山、江陵では秋学期のクラスメートとの行動が主になり、宿泊先でのレクリエーションや食事で行動を共にすることによって仲を深める事ができた。

(vii) 試験

11月1日(水)と2日(木)に中間試験、12月4日(月)と5日(火)に期末試験が行われた。試験形式は中間、期末共に同じで、文法、リスニング、リーディングはマークシート形式であり、ライティングは筆記試験であった。またスピーキングの試験は2種類あり、先生と一対一で行う面接形式の試験と、クラスメートと2人1組になって問題に沿った会話文を完成させ、クラス内で発表するというものであった。

(viii) 韓国語能力試験 (TOPIK) 特別授業

秋学期の全過程が終了後、12月11日(月)から12月22日(金)まで新潟国際情報大学の学生のみで、韓国語能力試験 (TOPIK) の対策授業を受けた。担当の先生が用意した TOPIK の過去問題を実際に解き、

正答率の低かった問題の解説や、問題を解く上でのコツなどを学んだ。リスニング、リーディングを主に、ライティングの問題も解き、実際の試験がどのようなものかを知る事ができた。

5 当初の目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度についてそれぞれまとめる。

(i) リスニング能力、スピーキング能力、理解力の向上

秋学期の正規過程ではクラス分けテストによって自分のレベルにあったクラスに振り分けられ、少人数クラスということもあり、集中して学習に取り組む事ができた。また、担当の先生が次の時間にしっかり前の時間の復習をしてくださった事も手助けとなった。リスニング、スピーキングの授業では繰り返し聞いて理解する練習や、クラスメートと自分の意見を話し合ったり、練習問題を解いたりすることで着実に力をつける事ができた。さらにトウミと一対一で会話をする事で、さらなるコミュニケーション能力の向上へと繋がった。

(ii) 韓国の文化を学ぶこと

特別講義にて専門の先生方から韓国の歴史や文化、現代の韓国について詳しく説明を受け、より理解を深める事ができた。またトウミと一緒に過ごしたり、色々な場所へ出かけたりする事で、本場の韓国や韓国人のリアルな生活や文化を知る事ができた。実際に韓国へ来て生活してみないとわからない事を沢山目にする事ができ、様々な知識を得る事ができた。

6 反省・課題

4ヵ月という期間は想像以上にあつという間であった。この4ヵ月という期間で学べる事にはやはり限界があると感じた。これからより高いレベルの能力を身につけるには今以上に時間が必要になる。そのため今までよりも効率よく、質の高い学習をすることを課題とする。今まで留学を通じて学んできたことが無駄にならないように上のレベルを目指して、これからも継続して学習を続けて行きたいと思う。

謝辞

今回の研修にて丁寧で親切なご指導をしてくださったパク・ソニョン先生をはじめとする慶熙大学の先生方、そして本学にて韓国語の授業、留学の担当をしてくださったシン・ウンジュ先生、パク・スヒ先生、櫻沢亜伊先生、そして今回の研修に携わってくださった全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。そして今回の留学は両親や、共に研修に励んだ友人たちの支えなしでは実現できなかったものだと実感しました。本当に感謝しています。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により本留学が実現し、有意義でかけがえのない経験ができた事を心から感謝いたします。

付録：研修日誌、現地学習詳細

9月14日（木）

行き先：国立中央博物館、「NANTA」劇場、Nソウルタワー

【日程表】

時間	内容	場所
9:00	出発	平和の殿堂
10:00～11:30	国立中央博物館 観覧	国立中央博物館
12:00～12:50	昼食	
13:30～16:00	「NANTA」観賞	「NANTA」劇場(明洞)
16:30～17:00	Nソウルタワー	Nソウルタワー
18:20	学校到着	

【内容】

国立中央博物館では、韓国をはじめとする中国、日本などのアジアの歴史を見て学ぶ事ができる。実際に貴重な文化財を見て回った。

「NANTA」劇場では「NANTA」という公演を見た。「NANTA」とは台詞のないパフォーマンスで年齢や国籍問わず楽しめて、人気がある。コミカルで息の合ったパフォーマンス、そして観客参加型のコーナーもあり、大いに楽しむ事ができた。

南山の頂上に位置するNソウルタワーではエレベーターで展望台に上るとソウルの美しい景色を一望できた。



Nソウルタワーからの景色



Nソウルタワー

9月21日(木)

行き先：青瓦台サランチェ、景福宮

【日程表】

時間	内容	場所
9:00	出発	回基駅
10:00～11:00	文化体験（しおり作り体験）	青瓦台サランチェ
11:00～12:20	サランチェ展示館 観覧	
12:30～13:30	韓食体験 (プルコギ、ビビンバ、チヂミ作り)	
13:30～14:00	青瓦台サランチェ 外観見物	
14:30～17:00	韓服体験 景福宮 観覧	景福宮

【内容】

青瓦台サランチェでは文化体験として、本のしおりの飾りの作成をした。結び目の特徴的で作り方が複雑であったため作成するのにとても苦戦した。

展示館では現大統領の経歴や仕事内容に関する情報など、最新の情報が展示されていた。またキムチの歴史や種類、作り方を詳しく展示しているキムチ博物館もあり、キムチの奥深さを学ぶ事ができた。

そして、韓食体験では実際にキムチチヂミとプルコギ作りを体験し、試食をした。さらにビビンバの具材の並び順には理由があることなど、料理の決まりごとなど新たな発見ができた。

景福宮ではチマチョゴリを着て宮内を散策した。憧れだったチマチョゴリを着る事ができて、大満足であった。



しおり



景福宮



韓服

11月15日(水)～11月16日(木)

行き先：雪岳山、江陵市内

【日程表】

日付	時間	内容	場所
1 日 目	9:00	出発	平和の殿堂
	12:30	昼食	
	14:00～17:00	雪岳山 登山	雪岳山
	17:30	夕食	
	18:40	宿泊先 チェックイン	宿泊先
	19:30～21:00	レクリエーション	
	23:00	就寝	
2 日 目	7:30	朝食	
	9:00	チェックアウト 出発	
	10:40～11:50	江陵市内 観光	江陵市内
	13:00	昼食	
	14:00	出発	
	17:30	学校到着	

【内容】

1泊2日での小旅行であった。1日目は雪岳山の登山、2日目は、江陵市内を観光した。

登山は緩やかな登山コースを1時間半ほどで散策しながら登った。風が強く吹いて、標高も高いために少し寒さを感じたが、天気はとても良く想像以上に険しい道りではなかった。時期により紅葉を見る事ができなかったのが残念であった。

宿泊先にて行なったレクリエーションでは秋学期のクラス別対抗戦でクイズやゲームを行ったりして、クラスメートと沢山コミュニケーションをする事ができた。正規過程を残り1ヶ月とした時期の今回の旅行であったが、クラスメートとの仲をより一層深める事ができた。



雪岳山



海岸